

第1回 白子町地域公共交通活性化協議会（議事録要旨）

日時：令和5年2月24日（金）

午後1時30分

場所：役場2階 第3会議室

◎開会

◎（町長あいさつ）

皆様こんにちは、本日はご多用のところお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。また、日頃より町政全般にわたりご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。

本日「白子町地域公共交通活性化協議会」が初めて開催されますので、冒頭お時間を少しだけいただきご挨拶をさせていただきます。

第5次総合計画後期基本計画を策定するために、昨年度町民アンケートを実施したわけですが、その中で「白子町は住みやすいか？」という項目があり、その結果6割は、肯定的な意見でありましたが、4割は住みにくいなど否定的な意見でありました。

周りの自治体でも同じようなアンケートを実施していますが、周りの町村より、本町は評価が低く、住民満足度の低さが町行政に対する評価なのだと思います。

アンケート結果の中に、「交通の利便性が悪い」など公共交通についての意見も多くありましたので、この協議会にて皆様から忌憚のないご意見を頂き、今後の白子町が「誰にとっても住み良いまち」、かつ「持続可能なまち」となるにはどのような仕組みが必要となるかを考え、交通計画をしっかりと作っていきたいと思っておりますので、本日はどうぞよろしくお願いいたします。

◎委嘱状交付

本来であれば町長から直接お渡しするところですが、コロナ対策などを考慮し、お手元に予め配布させていただき、交付に代えさせていただきたいと存じますので、何卒ご了承をお願いいたします。

◎自己紹介 【名簿順に自席にて自己紹介を行う】

◎白子町地域公共交通活性化協議会設置要綱について（加藤）説明

【要綱第6条及び第8条の規定により 会長を今関総務課長とし、議長とする。】

◎副会長及び監査委員の選任について（今関会長）

【副会長：大矢昌明氏、会計監査：森徳郎氏、竹下裕之氏】

◎白子町の現状について

◎（委員）

P14の福祉タクシーの対象者等について

P13について、6系統路線のうち運行維持補助金は町の支出のみか？

国県補助はどれにあたるか？

◎（委員）

福祉タクシーについては年間24,000円（1回2,000円）が上限です。

◎（委員）

利用回数は利用枚数ではないか？

◎（委員）

そうです。500円券を渡しており、枚数は多くなります。おつりが出ないので細かく出しています。

◎（事務局）

P13についてですが、町単独予算のみです。

国県の補助は白子町から大網駅までで、この表に金額は入っていません。

◎（委員）

地域間幹線系統が大網から白子町は理解できました。

他の県だとその路線に市町村から補助金を入れているケースがあるが白子町は？

◎（事務局）

運行補助は大網が入っておらず、白子町から本納駅と、白里から茂原です。

長生村を経由する茂原白子線は含まれていません。

◎（委員）

市町村にまたがるので、通常は市町村に地域間幹線系統になるのではないかと思うがそうならない背景は？

◎（事務局）

茂原白子線は観光客の利用などがあり、今のところ採算が取れているとのこと。小湊さんが対象としていません。

◎協議会活動スケジュールおよび協議会予算について説明（加藤）

◎計画策定調査業務委託業者の選定について説明（加藤）

◎（委員）

1点目はP17の一番下の「豊富な経験の・・・」の判断基準は？

他市だと過去五年で何件以上などがあります。白子町さんのスケジュールは

私が携わっている40数市で最も短いです。

不慣れな業者が入ってくると対応できないのでは？

計画が間に合わないと国からの補助がもらえなくなります。お尻が決まっているので、慣れた技術者がいるところを考えた方がいいと。ご検討下さい。

2点目はP24の白子町の現況整理ですが、いわゆる福祉系についても整理いただいた方がいいかと。人口の1.5%がタクシーを利用していると。白子町のなかでバスを使うのは完結しないと。町内移動の実態を把握するために、福祉タクシーや外出支援を入れた方がいいと思います。

いろいろなホテルも送迎バスを持っていて、そういう送迎バスも人手不足できついという話もある。

ホテルの現状も併せて抑えた方がいいだろうと。

他方で、バスの利用状況は小湊さんが出して頂けるか。アンケートを減らすなりして560万ではおさまれないと思っています。

3点目は現在自家用有償はないので、いらないかと。運営支援で2回しか来ないと、ほかの地域の焼き増しになる可能性もある。地名が読めないなどがある。コンサルは小湊さんや白子タクシーさんとのヒアリングをするなどが必要なので、第三者であるコンサルに拾ってもらいたい。

◎（事務局）

意見としてかみ砕いてそういう方向にしたいと思います。

仕様書も他市町村のやつを参照して作っており、この後必要な見直しを行います。専門的な知見のある関係機関の方々が入っておりますので、意見照会にも努めていきたいと思っています。

◎（議長）

利用状況について小湊さんいかがでしょうか？

◎（委員）

乗降調査のやり方、どのレベルまでかなど相談させていただければと。

◎（議長）

白子タクシーさんはいかがでしょう

◎（委員）

後でまた教えていただければと。

◎（委員）

大変詳細にまとめていただいております、意見として聞いてください。

白子町のプロポーザル実施要領ですが、調査会社はいい会社に来てもらっ

て町の予算を有効に使ってもらいたいので、優秀な業者に来てもらいたいのですが、参加資格があるのですが、普通の委託と違って業者数が少ないと思うので、専門的な知見も必要なので、狭めにやると事務局の首がしまっちゃうので、地域公共交通の策定が進んでおり、実績があるところがよく、初めてやる業者はできないと思います。たくさんの業者から手が上がる方法がいいかと。

業者はいい資料をつくってくるが、プレゼンテーションはいいが、成果物はあるまりのような業者もある。それを見抜く力も必要かと思います。専門的な人に惑わされない体制を作った方が有効かと思います。

アンケート調査ですが、過去のデータを活用するのはいいが、アンケートが計画の生データなので、活性化協議会で議論して、アンケートを聞いた方がいいかなと。そこら辺の検討をお願いします。使う方に対する話を聞くのはわかるが、要望が強くて、提供する側（タクシーや観光業）も制約があり、調査会社はバスやタクシーなどのサービスを提供する側とも連絡を取るように仕様書を進めた方がいいと思います。ぜひご検討をお願いします。

◎（事務局）

いろいろと我々が気付かないご指摘ありがとうございます。

狭い範囲での抽出は避けたいと思っております。審査は P18 に企画提案書について書いてあり、事務局は 8 名程度で検討を考えているが、増やして行うことも考え、知見をお持ちの皆様にも可能であればプロポーザルの委員にも絡んでいただいとと考えております。

無作為に 1,000 人と書いてありますが、今一度見直しをかけて、案といたしまして、皆様にもう一度提示したい。

◎（委員）

アンケートの話ですが、1,000 人は統計的な話で、有効回答が 1,000 人を超えると誤差が 5%以内とのことで、コンサルや他市でもこう出してくるが、例えば。観光客に使ってもらえるような利用をした方がいいのだが、観光客には全くいかない。高校生の 3分の2の方が定期利用を使っていないので、本人や保護者、高齢者のコミュニティにもそういう方々に対してヒアリングやアンケートをかけるなど、ターゲットを絞って積み上げると。アンケートはどのアンケートからの結果からこういう風になったか読み取れないこともある。コンサルさんはこの部分がお金かかるので、これが無駄になるかもしれません。

◎（事務局）

十分加味させていただきます。もう少し検討します。

方向が定まったら委員の皆様に提示します。

◎（議長）

他にご意見があれば3月10日までに事務局をお願いいたします。

その他ですが、事務局からありますか。

◎（事務局）

プロポーザルの有識者の方を入れるというご意見があったが、我々も検討しております。突然指名して申し訳ないのですが下木次長さんにお伺いしますが、土木事務所の方が町のプロポーザルに参加するというのが過去にあったかそこら辺をお願いします。

◎（委員）

過去にはないと思います。工事の総合評価の委員として市町村に出向くことはあります。

◎（事務局）

ありがとうございました。

◎（委員）

勝浦市では私と渡辺さんは参加しました。私は全市町村委員なので、日程が厳しいですが。

◎（事務局）

私たちもどの委員さんをとという決め打ちではなく、知見をお持ちの委員の皆様と予定がつく委員さんと連絡を取りながら進めさせていきたい。

◎（事務局）

封筒の中にマイナンバーと口座記入用紙がありますので、後日返送いただければと思います。

◎（議長）

他にないようであれば、これをもって議長の任を解かせていただきます。ご協力ありがとうございました。

◎閉会